



コロバたより

2015. 3. 1. No. 19

発行 沖洲放課後クラブ(愛称 コロバクラブ)

〒770-0874 徳島市南沖洲 1-3-4

TEL&FAX 088-664-2875 携帯 090-7626-5643

メール okinosu.hot.chapel@gmail.com

コロバクラブ会長退任あいさつ

コロバクラブ 会長(徳島大学名誉教授) 十枝 修

もう10年も前になるでしょうか。加戸裕子先生は、大学卒業後ずっと勤めてきた教師を続けながら、現在の土地を購入し、建物を建てて、コロバクラブと命名した小学生の無料放課後クラブを始めました。私にその会長になって欲しいと依頼され、引き受けて早9年がたちました。加戸先生はその後54歳で退職し、牧師になり、ほっとチャペルが発足しました。加戸先生は、私の大学時代の教え子で、結婚の仲人を務めた関係もあり、彼女の活動を応援しなければという思いで、コロバクラブも時々お手伝いさせてもらいました。日曜礼拝にも時々参加させてもらいました。

私には2人の子どもがおり、長男はすでに結婚し、3人の子どももいますが、下の娘は40歳になるまで好きな男もいる様子もなく、ずっと独身でいくのかなと思っていた矢先、昨年9月、突然結婚すると言ってきました。相手は数年前に奥さんを病気で亡くされ、子ども3人のいる少し年上の人です。私には急に3人の孫が増えた感じですが、娘は急に3人のお母さんになるわけで、娘は結婚後も働き続けるので、手助けが必要です。結婚生活は娘が現在住んでいる群馬県前橋市ですることになるので、私か私の女房のどちらかが手助けに行かなければなりません。女房はまだ徳島で仕事があつて行けません。「猫の手よりましだから、お父さん行ったら。」と女房に言われ、急きょ私が前橋に行くことになりました。

私は生まれも育ちも東京ですが、徳島に来てからの方がはるかに長くなっています。あと何年生きられるか分かりませんが、私の最後の人生をまったく新しい群馬の地で過ごすことになりました。徳島のみなさまともお別れしなければなりません。でも、私には別れを悲しむよりも、新しい孫3人との生活に胸膨らみ、わくわく感の方が大きいのです。

コロバクラブの会長退任に当たり、私の希望というか、1つの提案があります。これまでは、すべて小学生を対象にしてきましたが、引き続き中学生を対象にした「無料塾」(コロバクラブⅡ)ができればいいなと思っています。そして、無料塾を卒業した子どもが大学生になって、再びコロバクラブに帰ってきて、今度はボランティアとして、活動に参加してくれたらすてきだなと思います。こうして、一つのサイクルができれば、コロバクラブの活動も安泰ではないでしょうか。

今の世の中、格差が拡大する一方です。そして、その格差は代々受け継がられ、貧困な家庭に生まれた子は、ずっと貧困から抜け出すことが難しい社会になっています。貧困から抜け出すには、人一倍努力をして、能力を身につける必要があります。教育が大変重要です。コロバクラブや無料塾がその一助になればすてきだと思います。

どうぞみなさま、お元気で、未来に希望をもって歩んでいただけますよう祈っています。

※十枝先生には、9年の長きにわたって会長職をお引き受け戴き、大変お世話になりました。一緒に将棋をして下さったり、ハーモニカ演奏をして下さったりしたこと心から感謝します。



《今年も楽しく活動しました！》 月曜日のコロバススペシャル

特別な支援が必要な子どもたちのための少人数のソーシャルスキルグループ学習（コロバススペシャル）は、すっかり定着し、毎週月曜日の夕方6時～7時まで子どもたち7名保護者6名大学生3名と加戸の計17名の大所帯で楽しく学習しました。学生ボランティアの一人かなみ先生は、内閣府の青年国際交流事業のコアリーダー育成プログラムの日本代表として元気にイギリスに行ってきました。そして、コロバススペシャルのことを世界に発信してくれました。



子どもたちは、コロバクラブのみんなと一緒に2回のバザーを経験し、働くことの大変さと楽しさを味わい、大きく成長しました。また、『今年のチャレンジ』では、はると君から嬉しい報告がありました。毎年コロバススペシャルでは、1月の最初に大人も子どももみんなの前で今年チャレンジしてみたいことを書いて発表するのですが、（書いたものは、自分の家の冷蔵庫等の目立つ所に貼る事になっています。）はると君のお母さんが、昨年発表して冷蔵庫に貼ってあった紙を持って来てくれました。それには、「城ノ内中学の受験に向けて勉強します。」と書いてあり、「今年めあての通り、無事合格出来ました。」との報告があったのです。全員から大歓声があがりました。

バザーでは、みんな明るく丁寧に接客できました。

後期のソーシャルスキル学習例

- ・上手な頼み方、断り方
- ・こんな時どうする？①②
- ・今年のチャレンジ
- ・自分の中の7つの思い込み犬（後述「ちょっといい話」参照）
- ・おめでとう会の計画（自分にもよくて相手にもいい提案の仕方とまとめ方）
- ・進級卒業おめでとう会（カレーライスとチョコフォンジュ&いろいろ発表会）

最後の卒業おめでとう会では、卒業生のこうた君が見事なけん玉の技を披露してくれたので、最高に盛り上がりました。こうた君の自信に溢れた顔が印象的でした。

コロバススペシャルのちょっといい話

『七つの思い込み犬を追い出そう』

私たちの毎日って、たまには嬉しいこともあ
るけれど、困ったこともいっぱい起こってきま
すよね。例えばテストで百点が取れなかったと
か、転んで怪我をしてしまったとか、誰かが挨拶
してくれなかったとか…。そんな時みなさん
は、どんなことを考えますか。やっぱり僕はダ
メだと落ち込む人もいれば、あいつのせいだと
怒り出す人もいれば、もっと悪いことが起きそ
うで不安になる人もいます。同じことが起こっ
てもこのように人によって反応が違うのです。
なぜでしょうか。

それは、私たちの心の中にいろいろな思い込
み犬が住みついでいて、その色眼鏡で起こって
くる出来事をみてしまうからです。自分の中の
思い込み犬（考え方の癖）に気づくことができ
れば、困ったことが起きても冷静に対処でき
ようになります。チャレンジしてみましよう。

7つの思い込み犬

- ① 正義犬：〇〇すべきだと考えてすぐ怒る
- ② 批判犬：相手が悪いと決め付けて批判する
- ③ 負け犬：他人と比較して自分はダメだと思ふ
- ④ 謝り犬：すぐに自分のせいだと思ひ込む
- ⑤ 心配犬：悪いことが起こりそうで不安になる
- ⑥ あきらめ犬：自分にはできないと思ひ込む
- ⑦ 無関心犬：もうどうでもいいですと投げやり

《コロバクラブの活動日記から①》「サツマイモパーティー」

毎年大好評のサツマイモ料理。5月に自分たちで苗を植えて、11月に収穫してすぐその日のうちに調理します。しかもグループごとに自分たちの作りたいメニューで作れるので、どのグループも手際よく、てきぱき活動できました。

A班：サツマイモパフェ B班：サツマイモスティック
C班：スイートポテト どの班も低学年も含めてよく協力し合い、自分たちの班が一番美味しくできたと感じました。



《コロバの活動日記から②》「楽しい理科の実験」



今年度後期の理科の実験は、何と高校化学で習う『炎色反応』。山中孝子先生は、小学生でもよく分かるように身近な材料を使って、しかも安全に教えて下さったので、どの子も(ボランティアの先生も)目がキラキラ輝いて興味深々。赤や緑、紫等のきれいな炎に何度も大歓声が上がりました。私も昔習った「リヤカー無きK村、動力借るとするも…(リチウム:赤色 ナトリウム:黄色 カリウム:紫 銅:緑 カルシウム:橙色…)」を思い出しました。コロバから将来ノーベル賞を取る科学者が誕生するかもしれませんね。



《コロバの活動日記から③》 竹笛を作ろう

コロバ副会長の岩見先生は、後期も竹工作の指導に来て下さいました。今回は竹の笛作りです。普段は危ないからと触らせてもらえない小刀やカッターナイフを1年生も使います。うまく音色が出るように切込みをいれた小窓を作ったり、竹の穴にぴったり合うように竹を切って詰め物をしたり、難しい作業の連続です。でも、いつもなら諦めそうになる子どもたちも周りからの声援を受け、何度も何度も微調整を繰り返して、無事全員が音の出る笛を完成させ、達成感を味わいました。何度失敗してもやり直せるのが手作りのよさです。



《コロバの活動日記から④》 手打ちうどん&手作りマイお手玉

コロバクラブでは、体験格差をなくしたい。手作りのよさを味わって欲しい、体によい食生活を身に付けて欲しい、協力する楽しさや働く楽しさ、人の役に立つ喜びを味わって欲しい…etc. とやりたいことが一杯で、欲張って毎年てんこ盛りの年間計画ですが、ボランティアの先生方や高学年の子どもたちが本当によく頑張ってくれているので、今年もと

っても美味しい手打ちうどんと素敵な手作りマイお手玉が出来上がりました。

まず、うどん作りでは3人一組で、小麦粉に食塩水を加えた物をひたすら踏んで、麺棒でのばして、細く細く切ってゆでます。やるべきことがたくさんあって、どれもが分かりやすい作業なので、高学年も指導しやすく、みんなが大満足の活動でした。



逆にマイお手玉作りは、最近、針と糸を使う機会が少なく、糸を通すのも玉止めや玉結びもみんなが四苦八苦。しかし、その分完成の喜びはひとしおです。まず、円の型紙を作り、布を丸く切って周りを波縫いした後、縫い縮めて止め付けフェルトを貼り付けて完成です。誰もがマイお手玉をととても大事そうに持って帰っていました。

《学生ボランティアの先生のお話》

コロバクラブで、子供達と一緒に活動し、子供達が頑張る姿を見て、私も頑張らなければという気持ちになりました。特にコロバクラブでは、何かを決めるときに、多数決をせずに話し合いで決めています。この話し合いを通して、提案する力や、自分がいいものだけでなく周りの子にとってもいい結論を出そうとする思いやりの心が育っているなど感じています。色々な学年や様々な個性を持つ子供達が一緒に活動することで、コミュニケーション力が養われ、自分にはない考え方を知る機会になっていると思います。私も子供達と一緒にたくさんのお話を勉強させてもらいました。ありがとうございました。



まい先生には、6年間本当にお世話になりました。優しくて誠実な先生はみんなの憧れの的でした。

(宮本まい先生)

今年、夏休み明けからの参加でした。半年ぶりに会った子どもたちは、こころも身体も大きく、たくましくなっていて、驚いた反面、とても嬉しく感じたことを覚えています。コロバスペシャルの時間を使って、イギリスでの派遣報告と英会話のレッスンを友人とさせていただきました。派遣報告では、保護者の方々から反響が多く、とても嬉しかったです。英会話のレッスンでは、子どもたちの英語力に友人ともに驚きました。いつもとは違った雰囲気のコロバスペシャルでしたが、充実した楽しい時間だったと思います。来年度も楽しいプログラムを計画してコロバスペシャルを盛り上げていけたらよいと考えています。よろしくお願いします。(森松かなみ先生)

《保護者の方々の感想》

- ・1年間を通して今まで知らなかったことを知れたのがよかった。親が思うより子どもの方が成長してきていることにびっくりします。(AH)
- ・コロバスペシャルは息子が小学1年生になった時に始まり、6年間を通してお世話になることができて、有難かったです。発達面で不安を持ちながら小学校に入学。でも、6年間全くと言っていいほどトラブルもなくやってこれました。コロバで学んだことが有益で役に立ったのだと思います。コロバは子どもにも良くて親にも良い、そんな場所です。(HN)